

# 非常通信（アマチュア無線局関係）記入要領等

非常通信は、「地震などの非常災害時で、かつ、一般通信の利用が困難な時に、人命救助、災害の救援などのための無線通信（電波法第52条4号）」と定められています。

## 【非常通信の送受信の手順】

### （呼び出し周波数）

訓練の場合は、予め指定している周波数で交信する。訓練以外の場合は、相手局の呼び出しを、144MHz帯では145.00MHzで、430MHz帯は433.00MHzで呼び出し、その後任意の周波数に移動し非常通信をすること。

注）周波数の移動を要する理由は、大規模災害の場合は145.00MHz、又は433.00MHzで非常通信をした場合、他の局が非常通信をしようとした場合、既に非常通信をしている局が終了するまで非常通信を実施することができないため。

### （呼び出し方法及び被災情報の電文送信）

#### 【訓練の場合】

予め指定している周波数で予定のアマチュア局を「訓練非常」で呼び出し非常通信をおこなう。送信局は受信局に対し非常通信である旨を説明し受信局の了解を得て非常通信をおこなう。被災状況の送信は短く区切りながら（5字から10字程度で区切る）ゆっくり（行政が実施している防災無線を活用した住民向け広報のスピーチの早さ）送信する（早口での送信は厳禁）。

受信側は区切りごとに反復し、確実に受信できなかった場合は再度の送信を依頼すること（再度送信をお願いします等）。全ての電文の送受信が完了すれば、受信側が全文の反復を必ず実施して下さい。

注）送信側は、送信開始時刻、受信側は、受信完了時刻を記入して下さい。

#### 【災害時】

145.00MHz又は433.00MHzでCQ非常を3回（地域指定も可）、こちらはを1回、自局のコールサインを3回送信、相手局の応答があれば任意の周波数を指定しQSYし非常通信をおこなう。任意の周波数に移動すると送信局は受信局に対し非常通信である旨を説明し受信局の了解を得て非常通信をおこなう。電文の送信は短く区切りながら（5字から10字程度で区切る）ゆっくり（行政が実施している防災無線を活用した住民向け広報のスピーチの早さ）送信する（早口での送信は厳禁）。

受信側は区切りごとに反復し、確実に受信できなかった場合は再度の送信を依頼すること（再度送信をお願いします等）。全ての電文の送受信が完了すれば、受信側が全文の反復を必ず実施して下さい。

注）送信側は、送信開始時刻、受信側は、受信完了時刻を記入して下さい。

### （非常通信用紙の記入方法等）

#### 1. 行政

非常通信用紙に下記内容を記入

##### ※ 訓練非常の表示

- ① 枠外左上・・・非常（訓練非常）と記入

##### ※ 宛先

- ② 機関名・・・宛先の機関名又は名前を記入

##### ※ 発信人（発信人がアマチュア無線局の場合はアマチュア無線局となる）

- ③ 発信日時・・・電報を作成した日時を記入（電報を発信する日時）  
④ 機関名・・・電報を発信する機関名又は名前を記入（氏名及びコールサイン）  
⑤ 取扱者・・・取扱者の名前を記入

##### ※ 通報文

- ⑥ 発生日時・・・災害の発生日時を記入  
⑦ 災害種別・・・災害の種別を○で囲む、該当しない場合は右余白に災害種別を記入  
⑧ 被災地区・・・被災地区を記入

- ⑨ 被災状況・・・被災状況を記入
- ⑩ 要請内容・・・支援等要請内容を記入

## ※ 伝達経路

### ★ 1 機関名

- ⑪ 受信・・・受信は受信完了時刻を記入（被災状況の内容を確認しOKをした時刻）
- ⑫ 送信・・・送信は送信開始時刻を記入
- ⑬ 機関名・・・機関名又はコールサインを記入
- ⑭ 取扱者・・・氏名を記入

注) 伝達経路・・・CQ等により送信相手局が確定した場合は、2機関名の欄の⑬に受信局のコールサイン⑭に取扱者名を確認し記入。1機関名から2機関名への送信は、⑭の取扱者名までの全てを2機関名に送信して下さい。2機関名に被災情報の全てを送信した後、2機関名に反復を依頼。2機関名からの反復により被災内容に誤りのないことを確認。2機関名の⑪の受信時刻を記入する。

### ★ 2 機関名

- ⑮ 受信・・・受信は受信完了時刻を記入
- ⑯ 送信・・・送信は送信開始時刻を記入
- ⑰ 機関名・・・機関名又はコールサインを記入
- ⑱ 取扱者・・・氏名を記入

注) 伝達経路・・・CQ等により送信相手局が確定した場合は、3機関名の欄の⑰に受信局のコールサイン⑱に取扱者名を確認し記入。2機関名から3機関名への送信は、⑱の取扱者名までの全てを3機関名に送信して下さい。3機関名に被災情報の全てを送信した後、3機関名に反復を依頼。3機関名からの反復により被災内容に誤りのないことを確認。3機関名の⑮の受信時刻を記入する。

### ★ 3 機関名

- ⑲ 受信・・・受信は受信完了時刻を記入
- ⑳ 送信・・・送信は送信開始時刻を記入
- ㉑ 機関名・・・機関名又はコールサインを記入
- ㉒ 取扱者・・・氏名を記入

注) 伝達経路・・・CQ等により送信相手局が確定した場合は、4機関名の欄の㉑に受信局のコールサイン㉒に取扱者名を確認し記入。3機関名から4機関名への送信は、㉒の取扱者名までの全てを4機関名に送信して下さい。4機関名に被災情報の全てを送信した後、4機関名に反復を依頼。4機関名からの反復により被災内容に誤りのないことを確認。4機関名の⑲の受信時刻を記入する。

### ★ 4 機関名

- ㉓ 受信・・・受信は受信完了時刻を記入
- ㉔ 送信・・・送信は送信開始時刻を記入
- ㉕ 機関名・・・機関名又はコールサインを記入
- ㉖ 取扱者・・・氏名を記入

注) 伝達経路・・・CQ等により送信相手局が確定した場合は、5機関名の欄の㉕に受信局のコールサイン㉖に取扱者名を確認し記入。4機関名から5機関名への送信は、㉖の取扱者名までの全てを5機関名に送信して下さい。5機関名に被災情報の全てを送信した後、5機関名に反復を依頼。5機関名からの反復により被災内容に誤りのないことを確認。5機関名の⑲の受信時刻を記入する。

### ★ 5 機関名

- ㉗ 受信・・・受信は受信完了時刻を記入
- ㉘ 送信・・・送信は送信開始時刻を記入
- ㉙ 機関名・・・機関名又はコールサインを記入
- ㉚ 取扱者・・・氏名を記入

★使送の場合の送信時分は、常置場所又は移動運用場所を出発した時刻を記入する。